

〈寝屋川市内の史跡巡り“パート4”〉

会員並びに御家族様

# 歴史の歴史、文化の再認識を！

## ～淀川周辺を探索～



紅葉の秋、野山の草木が色づき綺麗に私たちを楽しんでくれる季節になってきました。第132回史跡巡りは、11月の下旬に実施、京阪香里園駅前から西側、淀川方面に、途中に桃山様式の彩色を施した社殿「鞆呂岐神社」を、澄み切った秋空の中を古く歴史のある文化遺産を訪ね歩き歴史、文化を再認識しませんか。

ご家族、友人たちと語り合いながら、ゆっくり、じっくり歩きませんか。お気軽に参加して下さい。又新会員の皆様も奮ってご参加をお願いします。

お待ちしております。



### 記

1. 日時 : 2013年 11月 21日 (木曜日)、 10時集合 (雨天決行)
2. 集合場所 : 京阪香里園駅、西側出口、ロータリー前

3. 史跡巡り: ⇒ 鞆呂岐神社 ⇒ 本信寺 ⇒ 大阪府立淡水魚試験場  
⇒ 五兵衛樋跡 ⇒ 茨田堤 ⇒ 楠遺跡  
⇒ 西正寺 ⇒ 楠遺跡 ⇒ 弘法井戸  
⇒ 善行寺 ⇒ 二本松神社跡

4. 歩行距離 : 約 4.0Km
5. 参加費用 : 300円 (当日集合場所にて徴収します。)
6. その他 :

- 史跡巡りの解説書は当日に配布します。
- 昼食は各自ご持参下さい。
- 次回予定は 平成26年度 4月03日 (木)  
『寝屋川市内巡り “パート5”』です。

京阪寝屋川市駅、10時集合です。



茨田堤碑



コース:香里園駅⇒鞆呂岐神社⇒本信寺⇒淡水魚試験場⇒五兵衛橋跡⇒茨田堤⇒段蔵⇒西正寺⇒太間天満宮⇒  
友呂岐村役場跡⇒楠遺跡⇒土汽車道⇒田井弘法井戸⇒善行寺⇒田井神社跡⇒身替り地藏尊 歩行距離:8km参加:45名



中西支部長挨拶

初参加の佐藤さん、安川さん、橋本さん、間宮さん

参道の馬場

鞆呂岐神社



寝屋川シリーズになってから参加者が増え、今回も45名となり晩秋の秋空の下で一日を過ごしました。一本信寺にて一



淡水魚試験場

五兵衛橋跡

淀川堤防沿いを歩く

茨田堤

段蔵



公園での昼食

西正寺

太間天満宮

友呂岐村役場跡

楠遺跡



土汽車道

田井弘法井戸

善行寺

田井神社跡

身替り地藏尊で解散

歩行距離について:

今回の寝屋川シリーズ4は、15箇所と盛り沢山でした。しかも歩行距離が8km以上と今までに無い長距離となり、会員の皆さんから足腰が痛くなるとの声をお聞きました。今後は、従来通り5km前後のコースとなるよう今後気をつけてゆき



### 美化ボランティア

今年度も社会貢献の一環で清掃活動を続けています。市内5ヶ所の公園を年2回、市内の4駅を年4回計画・実施してきました。

又、駅前清掃活動を始めて3年目になりますが今年度からは会員の皆様の最寄の駅に参加いただく事で呼びかけを行なってきました。

既に昨年末までに公園清掃は一回、駅前清掃は三回実施し、延べ219名の皆さんが参加されました。こうした活動を通じて社会貢献を実感しています。



12月香里園駅前清掃

残すところ3月2日(日)は4駅清掃、年度が変わり4月7日(月)公園の清掃を予定。既に案内をしておりますが、積極的な参加をお願いします。

### 第132回史跡巡り

第132回史跡巡りは昨年11月21日(木)京阪香里園駅西側ロータリー前に、初参加4名を含めて参加者45名の多数が集まり開催されました。

コースは香里園駅を起点に西方面の淀川周辺まで3班・4班の地区を大きく周回するコースで、15箇所を盛り沢山に巡り晩秋の澄んだ空の下で一日を過ごしました。

初めに訪れた木屋町の輛呂岐神社では、参道の馬場石碑や桃山様式の彩色を施した流造りの本殿や赤穂浪士ゆかりの「寄進の鳥居」、「茨田蛇の池跡」の碑等を興味深く見て回りました。

次の本信寺では本堂や広い庭園、菊紋付の灯笼等を見学しました。



鯉のエサやり体験

水生生物センターでは天然記念物イタセンパラや絶滅危惧種ニッポンバラタナゴ等の希少種の観察や鯉の餌やり体験等、非日常の経験をしました。その後淀川堤防上に移動して五兵衛樋跡の石碑や茨田堤碑や段蔵を順に見学しました。



菊の西正寺での解説

西正寺では菊が見頃の庭で解説を聞いた後、太閤天満宮隣の公園に移動して昼食を摂り陽だまりの中でしばしの休憩を楽しみました。

午後は史跡が点在して離れた場所が多く、歩行距離も約8kmと通常よりも長くなりました。

今回の史跡巡りは従来とは少し違って石碑だけや跡地の史跡・遺跡が多くあった為、解説書には当日見学できないものが写真掲載され、又、地元民話の「木屋の龍神さま」や輛呂岐神

社略記も記載される等、より判り易い工夫がされていきました。

### 鉢かつぎ姫四話

とのさまは姫のふしぎな姿を見ると「あの娘をよべ」と家来に命じました。



とのさまとの出会い

姫がそばにくると

「お前はなぜそのような姿をしているのか?」とたづねました。姫はこれまでのことをくわしく話しました。とのさまは

「それはきのどくな事じや、行くあてもなければ私の屋敷で働くが良い」と言われました。



下働きの初瀬姫

屋敷へつれていかれた

初瀬姫は風呂番として働くことになりました。幼い頃から下働きなどしたことはありませんでしたが素直に働きました。

ある日、山陰中将の四番目の息子(宰相)から声をかけられました。色々な話をするようになりました。

未だ独身の宰相は心優しい人で初瀬とは次第にお互いに心がひかれていきました。やがて二人は夫婦の約束をしますが、鉢をかついだ見すばらしい姿にはどうすることも出来ません。

宰相は父の山陰中将に申出をしました。父は家族に相談しました。兄弟嫁は大反対でした。どうしても一緒になりたければ「嫁くらべ」のテストをしようと言うことになりました。初瀬は皆に迷惑をかけるないようにとの屋敷から出ようと考えました。

宰相にお別れの挨拶をし旅の姿をして出かけます。

宰相からは「心配しなくて良いから」と暖かい言葉をかけました。

(続く)

- 今後の支部行事予定**
- 3月22日(土)新会員入会式
  - 4月3日(木)第133回史跡巡り
  - 4月7日(月)美化ボランティア
  - 5月24日(土)年次支部総会
  - 5月29日(木)第53回友呂岐会

### ねやがわ支部の社会貢献活動

7リタブを集めて、福祉施設に寄付しよう!!

集めたブルタブは、寝屋川市を通じて、社会福祉施設の要望に沿った品物をお贈りしています。各地区委員にお渡しください!

